

令和元年度 美術館自主事業（企画展）実績・評価一覧

No.	事業名	会期・会場	内容	鑑賞者数	売上金額(円)	総経費(円)	経費の自立度
1	古代アンデス文明展	2019年3月8日(金) ～5月6日(月) 展示室A	南米大陸の太平洋岸に展開したアンデス文明は、地上絵のナスカ、巨石文明のティワナク、広大な地域を支配したインカなど、数々の個性的な文化を含んでいる。本展では、アンデスに人類が到達した先史時代から16世紀のスペインによる征服まで、15,000年にわたって花開いた多彩な文化を、遺物や黄金製品、ミイラなど約200点の貴重な資料で紹介した。	40,007人	52,418,529	52,257,021	100.3%
2	竹工芸名品展 ニューヨークのアビー・コレクション メトロポリタン美術館所蔵	2019年5月18日(土) ～6月30日(日) 展示室B	ニューヨークのメトロポリタン美術館で開催された「日本の竹工芸：アビー・コレクション」展の巡回展として、高名な美術コレクターであるアビー夫妻が収集してきた竹工芸を紹介。明治期の伝統的な花籠から現代の彫刻的作品まで日本初公開の76点と県立美術館所蔵の絵画作品などを合わせて展示し、竹の造形の多様な表現と展開を示した。取り上げたのは、人間国宝6人を含む関東、関西、大分の代表的作家45人の作品。	5,777人	4,729,850	24,967,067	18.9%
3	ムーミン展 THE ART AND THE STORY	2019年6月29日(土) ～9月1日(日) 展示室A	日本とフィンランドの修好100周年を記念して開催。フィンランドを代表する芸術家、トーベ・ヤンソン(1914～2001年)が生み出した「ムーミン」シリーズの多彩なアートと奥深い物語をテーマに、貴重な原画やスケッチなど約500点の展示品で紹介。世界中で今なお愛され続けるムーミンの魅力とその背景に迫った。	51,214人	65,450,995	39,583,005	165.4%
4	名探偵コナン 科学捜査展 ～真実への推理～	2019年9月14日(土) ～11月10日(日) 展示室A	ラグビーワールドカップ2019開催時期にあわせ、ファミリー層をターゲットとし、国際的な人気のあるマンガ作品「名探偵コナン」の世界観をベースにした展覧会巡回をマスコミとの共催展として開催した。OPAMでは初めてとなる、科学捜査を題材とし、鑑賞者が実際に科学捜査を行い、事件解決までのプロセスを楽しめる「体験型」の展覧会であった。 世代や地域を越えて様々な人々が楽しめるコンテンツであり、県内外のコナン・ファンのみならず、海外からの来場者にも、日本のアニメ文化を体感してもらえる好適な機会になることを目的とした。	23,417人	39,850,394	56,962,598	70.0%
5	The Ukiyo-e 歌川派 ～豊春から国芳、広重まで	2019年9月20日(金) ～10月27日(日) 展示室B	浮世絵史上、最大の画派である「歌川派」の代表的な絵師たちを特集する企画。歌川派を通して、日本の芸術文化を代表する浮世絵の斬新なデザインやユニークな表現を知ってもらう。広重、国芳などの世界的に知られた浮世絵師の名品を紹介しながら、豊後臼杵出身説がある歌川派の開祖・豊春を特にクローズアップ。臼杵藩の御用絵師の史料とともに、豊春が臼杵出身である可能性が高いことなども紹介。歌川派の様々な個性に出会いながら、豊春の芸術をじっくり楽しんでもらう企画。初公開5点を含む肉筆浮世絵を22点、各絵師の浮世絵版画130点、合計約150点で構成。	8,964人	3,681,640	16,658,768	22.1%
6	日本の美意識 ～刀剣と金工～	2019年9月27日(金) ～10月22日(火) コレクション展示室	ラグビーワールドカップ開催に合わせて、昨今若い世代にも関心の高い刀剣類に加え、精緻な彫金技術による飾金具など金工作品等も展示し、日本人の美意識に触れる機会を提供する。日本刀は、代表的産地である五ヶ伝(大和・山城・備前・美濃・相模)の名刀や地元・大分の豊後刀を展示した。また、刀剣を生み出す刀匠についても注目し、その伝統的な技を道具類とともに紹介したほか、鏝や鞘を飾った刀装具や明治期に作られ海外で高い評価を受けた明治期の金工品を展示、日本が誇る工芸技術を紹介した。	8,817人	3,317,450	8,386,965	39.6%

令和元年度 美術館自主事業（企画展）実績・評価一覧

No.	事業名	会期・会場	内容	鑑賞者数	売上金額(円)	総経費(円)	経費の自立度
7	岡本太郎展	2019年12月26日(木) ～2020年1月24日(金) 展示室A	大分県で初となる岡本太郎展として、初期から後期までの代表的作品を通して、戦後日本を代表する芸術家・岡本太郎の全体像に迫る。川崎市岡本太郎美術館の協力の下、初期の傑作《森の掟》や、幅10mを超える大作《明日の神話》など、岡本太郎の代表作を展示。この他、縄文土器をきっかけに全国各地で撮影した写真作品により、日本の伝統をテーマに取材や思索を重ねた岡本太郎の知られざる側面を紹介。制作・文筆・撮影といった多彩な活動を通して独自のビジョンを展開し、社会に芸術の在り方を問い続けた岡本太郎のエネルギーな姿を県内外の鑑賞者へ紹介した。	17,229人	10,596,400	13,342,224	79.4%
8	リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展	2020年3月6日(金) ～4月19日(日) 展示室B	リヒテンシュタイン侯爵家は、500年以上にわたってヨーロッパ美術の名品を収集してきた。その数は3万点におよび、英国王室に次ぐ世界最大級の個人コレクションとして世界的名声を博している。本展覧会では、北方ルネサンス、バロック、ロココ時代の絵画約60点と、ヨーロッパの王族や貴族の趣味が色濃く反映された陶磁器の名品などを多数展示し、優雅な宮廷文化を紹介する。	0人 (新型コロナウイルス感染防止のため、3月2日から休館したため)	0	18,033,947	0.0%